

奈良の土地改良

発行：令和5年10月
 奈良県土地改良事業団体連合会
 奈良県橿原市城殿町459番地
 TEL0744-29-1310
 FAX0744-29-1312
<https://www.naradoren.or.jp>



橿原市

目次	1. 奈良県知事表敬訪問	1
	2. 令和6年度に向けた近畿水土里ネット連合協議会による政策提案・要望活動	2
	3. 令和6年度に向けた政策提案・要望活動	3
	4. 令和5年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会 開催	4
	5. 令和5年度 奈良県農業農村整備事業推進協議会総会 開催	5
	6. 令和5年度 奈良県多面的機能支払推進協議会通常総会 開催	6
	7. 令和5年度土地改良区技術実践向上研修会開催 及び 男女共同参画の推進について	7
	8. 『水土里ネット 男女共同参画推進大会 in Kazuno』に参加	8
	9. 令和5年度 奈良県土地改良区連絡協議会総会 開催	9
	10. 全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮崎雅夫氏 来県	10
	11. 土地改良施設の更新と積立金の現状について	11
	12. 非補助農業基盤整備資金のご案内	12
	13. 土地改良区紹介 倉橋溜池土地改良区	13
	14. 奈良県農村地域づくり協議会 正会員のご紹介 美しい多地区の田園風景を楽しむ会（田原本町）	14
	15. 土地改良に関する法律相談	

奈良県知事表敬訪問

令和5年8月8日（火）、奈良県土地改良事業団体連合会の会員土地改良区を代表して、土地改良区連絡協議会の中筋 弘 会長はじめ、副会長、監事を務める各土地改良区理事長と連合会の菅谷常務理事が 山下 真 奈良県知事を表敬訪問しました。

訪問では、土地改良事業や連合会の概要、各土地改良区の概要を出席者それぞれが紹介し、その後、中筋会長が令和8年度に全国土地改良大会の開催を目指している旨の説明を行い、県の協力をお願いしました。

山下知事は、農業振興だけでなく観光振興にも繋がるので全国大会開催に協力して行きたい、と応えられました。

知事室では、食と農の振興部から 乾 部長、長谷川 次長も同席され、農業農村振興にかかる話題が広がり、限られた時間でしたが有意義な訪問となりました。



2023

水土里ネット 奈良の概要



奈良県土地改良事業団体連合会

奈良県土地改良事業団体連合会の活動を紹介する「水土里ネット奈良の概要2023」をお渡ししました。

令和6年度に向けた近畿水土里ネット連合協議会による政策提案・要望活動

近畿水土里ネット連合協議会は、令和6年度に向けた提案要望活動として、令和5年7月21日(金)に近畿農政局へ、7月25日(火)に農林水産省・財務省及び進藤議員への提案要望を行いました。

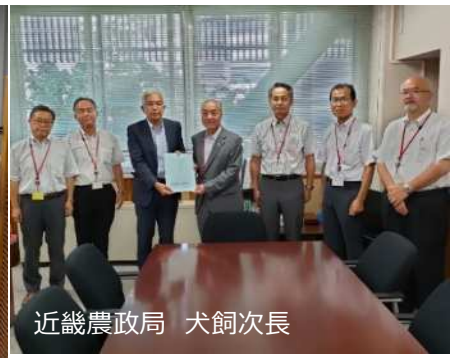
7/21(金) 近畿農政局への要望



○近畿農政局との意見交換会○



近畿農政局 安東局長 佐竹次長



近畿農政局 犬飼次長

7/25(火) 農林水産省・財務省及び進藤議員への要望



農林水産省 横山事務次官



農林水産省 長井農村振興局長



財務省 宮本財務大臣政務官



農林水産省 青山農村振興局次長



進藤金日子 参議院議員

【提案事項】

- 1 農業農村整備事業の着実かつ円滑な推進ならびに関係予算の確保
- 2 土地改良施設等の管理に対する支援制度の充実
- 3 災害復旧事業への支援制度の充実と強化
- 4 日本型直接支払制度の円滑な推進
- 5 土地改良区の運営基盤の強化
- 6 土地改良事業団体連合会の運営基盤の強化

近畿水土里ネット連合協議会

会長 家森 茂樹

滋賀県土地改良事業団体連合会	会長	家森 茂樹
京都府土地改良事業団体連合会	会長	田中 英夫
大阪府土地改良事業団体連合会	会長	北島 政夫
兵庫県土地改良事業団体連合会	職務代理者	
	副会長	井上 英俊
和歌山県土地改良事業団体連合会	会長	二階 俊博
奈良県土地改良事業団体連合会	会長	奥野 信亮

今年度は滋賀県が当番県を担っています。

令和6年度に向けた政策提案・要望活動

令和6年度に向けた政策提案・要望活動を、奈良県土地改良事業団体連合会、奈良県農業農村整備事業推進協議会、奈良県土地改良区連絡協議会3者合同で、令和5年7月11日（火）、12日（水）に行いました。進藤金日子参議院議員、宮崎雅夫参議院議員及び奈良県選出の国会議員、農林水産省・財務省に、地域の実情を説明するとともに、予算確保に向けての要望活動を行いました。

令和5年7月11日（火）要望活動の様子



進藤金日子 参議院議員



宮崎雅夫 参議院議員



高市早苗 経済安全保障担当大臣



奥野信亮 衆議院議員



堀井巖 参議院議員
(現 外務副大臣)



佐藤啓 参議院議員
(現 財務大臣政務官)



田野瀬太道 衆議院議員
(難波秘書 対応)

【奈良県の農業・農村の振興に関する提案書】

1. 農業競争力強化基盤整備の予算確保
2. 防災・減災対策の予算確保と地方負担軽減
3. 農業用河川工作物等応急対策事業の制度拡充
4. 土地改良施設の保全・管理体制の強化
5. 県土連の体制強化への支援
6. 日本型直接支払制度の継続支援と予算確保
7. 農地・農業用施設災害復旧への支援（お礼）

令和5年7月12日（水）要望活動の様子



農林水産省 青山農村振興局次長



農林水産省 緒方整備部長



財務省 漆畑主計官



令和5年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会 開催

令和5年7月24日(月)、大和平野土地改良区3階 理事会室において、令和5年度 奈良県土地改良事業団体連合会 理事会を開催しました。奥野会長の挨拶から始まり、上田議長（大和郡山市長）の下、議案が審議され、原案通りに可決されました。

【議事】

- 第1号議案 令和4年度事業報告について
- 第2号議案 令和4年度会計収支決算、貸借対照表及び財産目録について



来賓挨拶
奈良県食と農の振興部長 谷川憲生次長



挨拶
奥野信亮会長



議長
上田清大和郡山市長



監査報告
東川裕御所市長

令和5年度 奈良県農業農村整備事業推進協議会総会 開催

令和5年8月23日(水)、大和平野土地改良区 大会議室において、令和5年度 奈良県農業農村整備事業推進協議会 総会を開催しました。

協議会会長・上田大和郡山市長の開会挨拶、近畿農政局 植田農村振興部長、奈良県食と農の振興部 長谷川次長の来賓挨拶に続き、上田会長が議長を務め、議案が審議され原案どおりに承認を得ました。

任期満了に伴う役員改選については、現行の役員に引き続きお願いする旨の承認を得たことから、副会長である芝田曾爾村長から再任の挨拶がありました。

【議案】

- 第1号議案 令和4年度事業報告並びに収支決算について
- 第2号議案 令和5年度事業計画（案）について
- 第3号議案 令和5年度会費の徴収（案）について
- 第4号議案 令和5年度収支予算（案）について
- 第5号議案 任期満了に伴う役員改選について



議長 会長
大和郡山市 上田 清 市長



来賓挨拶 近畿農政局
農村振興部 植田康成 部長



来賓挨拶 奈良県食と農の振興部
長谷川憲生 次長



監査報告 監事
五條市 平岡清司 市長



総会議案説明・審議



役員就任挨拶 副会長
曾爾村 芝田秀数 村長



講演

総会終了後、元農林水産省農村振興局長 太田信介氏 より「奈良県の農業農村の未来を考える」と題し、詳細なデータに基づいた奈良県の農業農村の現状分析と未来に向けた土地改良区の役割、市町村からの支援の必要性等について熱のこもった講演を頂きました。

また、奈良県食と農の振興部 長谷川次長より県の農業農村整備事業・施策について、奈良県土地改良事業団体連合会 技術課 草間課長より奈良県ため池支援センターの運営状況等について情報提供がありました。



来賓挨拶
元農村振興局長 太田信介 氏



奈良県土地改良事業団体連合会
技術課 草間資之 課長



閉会挨拶 副会長
葛城市 阿古和彦 市長

令和5年度 奈良県多面的機能支払推進協議会通常総会 開催

令和5年8月23日(水)、大和平野土地改良区大会議室において、奈良県、奈良県農業協同組合、25市町村、奈良県土地改良事業団体連合会の会員総数28名全員の出席（出席21名、委任状による出席7名）のもと、令和5年度 奈良県多面的機能支払推進協議会通常総会を開催しました。

菅谷会長より開会挨拶の後、広陵町 栗山地域振興部長が議長を務め、議案が審議され原案どおりに可決、承認を得ました。



その他に情報提供として、奈良県食と農の振興部農村振興課より、地域計画策定と多面的機能支払交付金の一体的推進の説明や県の農村振興関係イベントの説明、兵庫県佐用町の広域化による事務負担軽減の説明がありました。その後、意見交換会が行われました。

議案

第1号議案

規約の一部変更について

第2号議案

令和4年度事業報告及び会計決算について

第3号議案

令和5年度事業計画及び会計収支予算（案）について

【活動計画について（開催予定行事）】

- R5.12 奈良県市町村活動組織リーダー研修
- R6.2 奈良県農村振興優良組織表彰式
- R6.2 奈良県多面的機能支払交付金研修会



開会挨拶
協議会
菅谷会長



議長
広陵町 地域振興部
栗山部長



監査報告
奈良市 観光経済部
農政課 米田課長



意見交換会総評
奈良県 食と農の振興部
長谷川次長

【意見交換会内容（一部抜粋）】

『各活動組織や行政で工夫すると良いと考えること』

- ・リーダーの育成が必要
- ・今年度、事務研修会を開催。来年度以降も継続してやっていきたい。開催する中で、組織同士のつながりを持ってもらいたい。
- ・書類様式の簡略化が必要
- ・事務について「やってみたら、意外とできた。」という声もあるので、そういった声を広めて参加を増やしたい。

『活動組織の設立をきっかけに地域での新たな活動や事業実施につながったり、今後つなげようと思っていること』

- ・組織内で計画的に計画を立てて工事発注ができています。
- ・制度の説明会を行った結果、興味を持たれて、取り組みたいという動きができています。
- ・獣害対策が被害の抑制に繋がっている。
- ・遊休農地を活用した植栽活動が好評。後継者がいない農地を地域で管理でき、他地域からもきれいな景色を見に来られることがある。

令和5年度土地改良区技術実践向上研修会開催 及び 男女共同参画の推進について

■ 令和5年度 土地改良区技術実践向上研修会 ■

令和5年8月28日(月)、大和平野土地改良区 大会議室において、「令和5年度土地改良区技術実践向上研修会」を開催し、土地改良区の役職員等50名が参加されました。奈良県内の農業者に対する実際の融資について、土地改良区の役員の役割についての説明、県からは土地改良区検査等について情報提供がありました。



○○内容○○

1. 農業者に対する融資について

日本政策金融公庫奈良支店 農林水産事業

融資課長 渡部 隆

2. 土地改良区の役員の役割について

近畿農政局土地改良管理課

課長補佐 鈴木 康功

3. 土地改良区の検査等について

奈良県食と農の振興部 農村振興課

主任主査 屋嘉比 昌彦

土地改良団体における男女共同参画の推進について

土地改良団体における男女共同参画推進については、女性理事登用にに向けた定款変更、奈良県における女性理事の登用状況、曲川土地改良区的女性理事登用事例、男女共同参画の基本事項行動計画等についての説明の後、参加者との意見交換があり、今後の男女共同参画の推進に向けて役立つ研修となりました。



女性理事登用にに向けた
定款変更について

近畿農政局 土地改良管理課
課長補佐 鈴木 康功



奈良県における女性理事の
登用状況について

奈良県食と農の振興部 農村振興課
課長補佐 井上 淳



事例発表
(女性理事の登用のプロセス)

曲川土地改良区
理事長 中村 明男
オブザーバー 松村 正博



男女共同参画の基本事項、
行動計画等について

全国土地改良事業団体連合会
土地改良広報センター
所長 牧 千瑞

意見交換会

鈴木 近畿農政局課長補佐
牧 全土連広報センター所長
井上 県農村振興課課長補佐
菅谷 奈良土連常務理事



『水土里ネット 男女共同参画推進大会 in Kazuno』に参加

令和5年9月27日(水)～28日(木)、ホテル鹿角(秋田県鹿角市十和田大湯字中谷地5-1)において、全国水土里ネット女性の会、あきた水土里ネット女性の会主催による「男女共同参画推進大会」が全国で初めて開催されました。

大会では、各都道府県の水土里ネット女性の会会員及び関係者が一堂に会し、男女共同参画推進の意義をより一層深めるとともに、先進的取組事例等を学び、個々のスキルアップを図りながら、それぞれの地域において男女共同参画を推進し、新時代にふさわしい土地改良区の創造を図ることを目的としています。

会場の様子



9/27

大会式典

- 主催者挨拶、来賓挨拶
- 基調講演
 - ・講師
農林水産省農村振興局農村政策部長
佐藤 一絵氏
「土地改良区の未来を拓く多様な人材の活躍に向けて」
- パネルディスカッション
「男女共同参画社会を実現するためには」
 - ・コーディネーター
秋田県立大学 生物資源科学部 生物環境科学科
教授・副学部長 長濱 健一氏
 - ・パネラー
大島堰土地改良区(宮崎県) 理事長 奥村 千扶子氏
大仙市大曲土地改良区(秋田県) 理事 今野 信子氏
胆沢平野土地改良区(岩手県) 理事長 千田 公喜氏
島根県土地改良事業団体連合会 理事 中尾 祥子氏
(※五十音順)

- 大会決議文朗読
- 閉会

交流会

- 歓迎アトラクション、懇親会



主催者挨拶
全国水土里ネット女性の会
根本由紀子会長



来賓挨拶
全国水土里ネット会長会議
宮崎雅夫顧問



基調講演：佐藤一絵部長は、「国内で農業に就く人のうち、女性が4割を占めているものの、その活躍は広く知られていない」と指摘し、その上で「人口減少が進む今、男女の違いにかかわらず活躍の機会を与えることに理解を深めるべき」と話されました。



パネルディスカッション



交流会の様子

9/28

現地研修

- 由右衛門果樹園レディースファーム(ホテル鹿角内講演)
- 小坂七滝ワイナリー
- 道の駅かづの「あんとらあ」
- ストーンサークル館・大湯環状列石



歓迎アトラクション：花輪ばやし



交流会来賓挨拶
全国水土里ネット会長会議
進藤金日子顧問

令和5年度 奈良県土地改良区連絡協議会総会 開催

令和5年9月29日(金)、大和平野土地改良区大会議室において、令和5年度 奈良県土地改良区連絡協議会総会が開催されました。

中筋弘会長の開会挨拶の後、奈良県食と農の振興部 長谷川憲生次長より、来賓挨拶がありました。総会は、中筋会長議事進行の下、議事が審議され、原案通りに承認を得ました。



開会挨拶

奈良県土地改良区連絡協議会
中筋 弘 会長



来賓挨拶

奈良県食と農の振興部
長谷川憲生 次長



監査報告

奈良県土地改良区連絡協議会
飯田喜代視 監事

議事

- ・第1号議案 令和4年度事業報告及び決算報告について
- ・第2号議案 令和5年度事業計画及び収支予算(案)について

情勢報告

- ・全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮崎雅夫
- ・外務副大臣 参議院議員 堀井 巖

その他

- ・堀井外務副大臣、宮崎参議院議員に推薦状の手交



閉会挨拶

奈良県土地改良区連絡協議会
金澤 秀樹 副会長



情勢報告

全国水土里ネット会長会議顧問
宮崎 雅夫 参議院議員



推薦状の手交



情勢報告

堀井 巖 外務副大臣



外務副大臣ご就任 花束贈呈

全国水土里ネット会長会議顧問 参議院議員 宮崎雅夫氏 来県

宮崎雅夫参議院議員が9月25日(月)と29日(金)に来県し、県内各地を訪問されました。

9月29日(金)は、中野雅史県議会議員事務所で関係者との意見交換の後、宇陀市の山口農園・ウェルネスフーズUDAを訪問視察されました。続いて、宇陀市役所では金剛宇陀市長並びに田中惟允県議会議員と意見交換をされました。その後、奈良県花き植木農業協同組合を訪問されました。



中野雅史県議会議員事務所



山口農園



ウェルネスフーズUDA



宇陀市役所



奈良県花き植木農業協同組合

9月25日(月)は、十津川村 小山人村長、天川村 森田副村長、黒滝村 植田村長、下北山村 南村長、上北山村 山室村長を訪問されました。その後、THE KASHIHARAにて、奈良県の林業に関する意見交換会にご出席されました。



十津川村役場



天川村役場



黒滝村役場



下北山村役場



上北山村役場



奈良県の林業に関する意見交換会

限られた時間の中で、宮崎議員は各地域の様々な意見や要望等に耳を傾けられ、精力的に意見交換をされました。

土地改良施設の更新と積立金の現状について

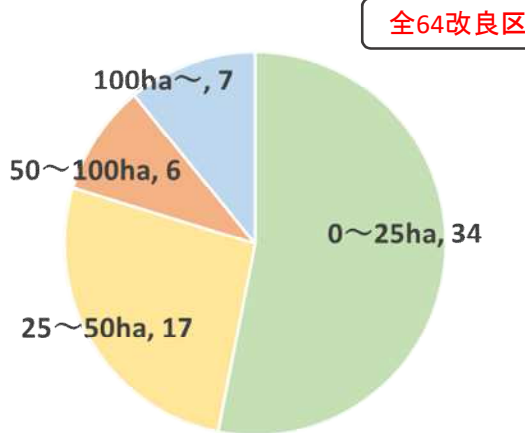
土地改良法の改正により、令和4年度以降の土地改良区の決算書類には、貸借対照表の添付及び土地改良施設の評価が必要となりました。当連合会では、令和元年度から2カ年にわたり、土地改良区の施設台帳を元に、各改良区が所有又は管理する施設（ため池・水路・井堰・農道など）の資産評価を行いました。

また、各土地改良区を巡回し、貸借対照表の作成を指導する際に、積立金(財政調整金)等、財務資料を確認いたしました。それらのデータを元に、今後、施設を更新する際の参考としていただくため、施設の更新(再取得)費用や財政状況を取りまとめました。

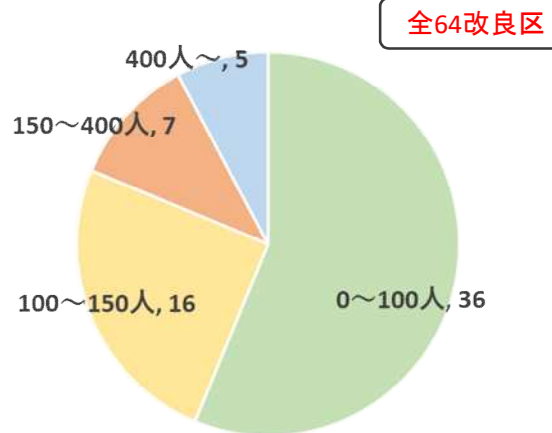
【対象とした土地改良区】

県内土地改良区 84の内、規模が大きい4国営関連土地改良区及び休眠又は管理施設を持たない又は財務状況が不明な16土地改良区を除く**64**土地改良区

1 土地改良区の面積規模別グラフ



2 土地改良区の組合員数別グラフ



3 減価償却済の土地改良施設の更新費用について

対象とした土地改良区の施設総数 **3,674**の内、減価償却済(耐用年数が過ぎている)の施設数は**3,054**で全体の83%を占めています。

その**3,054**施設の内、更新費用が算定出来た施設は**1,979**で施設総数**3,674**の約半数(54%)に過ぎませんが、その更新費用は**283**億円を超えています。なお、更新に要する費用の4分の3は水路が占めています。

表1

施設区分	全施設数	減価償却中の施設	減価償却済の施設	更新費用に関する施設	
				内、更新費用の算定可能な施設	更新費用[円]
頭首工	13	12	1	1	27,000,000
ため池	278	193	85	22	336,369,666
ゲート	1,161	106	1,055	641	3,038,611,903
水路	1,529	280	1,249	1,054	21,039,395,890
農道	614	2	612	218	2,859,353,932
ポンプ	74	24	50	41	974,276,000
その他	5	3	2	2	99,486,000
合計	3,674	620	3,054	1,979	28,374,493,391
対象改良区数		64	1改良区当たりの再取得費用		4億4,335万円

※更新費用

同一の構造、質、用途、規模、型、能力のものを再築または再取得するのに必要な金額。(但し、概算費用であり、また資材・人件費の高騰等により、費用は増大する可能性があります。)

4 土地改良施設と積立金(財政調整金)の関係

表1にあるとおり、減価償却済の施設で更新費用が算定出来た1,979施設の更新費用は、1改良区当たり平均で4億4,335万円、対して1改良区当たりの積立金の平均は8,622万円、更新費用の約19%に留まっています。

施設の更新費用を上回る積立金を保有している5つの土地改良区を除く59改良区で算定した場合、1改良区当たりの積立金の平均は、表2のとおり5,372万円で、充足率は11%に下がります。また、構造が不明であったり、小規模なために更新費用が算定出来なかった施設も含めた場合、更新費用の総額が増大するので実際の充足率は更に下がることとなります。

各土地改良区では、施設の適正管理や維持補修により長寿命化の努力をされていますが、施設の更新が必要となった場合、仮に60%の行政補助があるとしても、かなりの金額が不足することとなります。

【更新費用を上回る積立金を保有している5改良区を除いた状況 (対象:59土地改良区)】

表2

[単位:万円]

面積規模	改良区数	減価償却済施設の更新費用(A)	積立金(財政調整金)合計(B)	充足率B/A	1改良区あたりの平均積立金
0~25ha	31	807,900	86,274	11%	2,783
25~50ha	15	619,157	62,329	10%	4,155
50~100ha	6	287,658	23,985	8%	3,997
100ha~	7	1,080,178	144,382	13%	20,626
計	59	2,794,893	316,970	11%	5,372

今後、農地面積や組合員が減少していく場合、施設の更新に必要となる土地改良区や組合員の負担は、更に大きくなるのが予想されます。

施設の現状、積立額や将来展望等、土地改良区ごとに置かれた環境は異なりますが、施設の更新に向けて、今のうちから積立金を増やす、施設の長寿命化や合理化を図るなど対策を検討する必要があります。

非補助農業基盤整備資金のご案内

非補助農業基盤整備資金は、土地改良区等が国からの補助を受けず、かんがい排水やほ場整備、客土などの事業に取り組み、農業生産基盤の整備・保全の推進を図る場合、日本政策金融公庫が農家負担の軽減を目的に、土地改良区等に対し低利子で融資する資金です。

なお、国の補助対象ではない県又は市町村単独による補助事業についても、融資の対象となります。

融資対象事業	かんがい排水、畑地かんがい、ほ場整備、暗渠排水、客土、農道、索道（軌道等運搬施設を含む。）、畦畔整備、農地造成、防災、農地保全、維持管理、農業集落排水、飲雑用水施設、牧野の改良・造成・保全、牧野利用施設整備
貸付対象者	①土地改良区、土地改良区連合（事業主体になる場合に限る）、農業協同組合、農業協同組合連合会、農業を営む者 ②5割法人・団体（農業を営む者及び上記①の法人がその構成員又はその資本金などの過半数を占めるか又は過半数の出資等をしている法人・団体）
償還期限	25年以内（うち措置期間10年以内）
融資限度額	地元負担金（最低額 50万円）
貸付利率	1.1%（令和5年10月19日現在） ※固定金利であり、償還が終わるまで適用される金利は変わりません。 ※最新の利率は下記へお問い合わせ下さい。

【問合せ先】日本政策金融公庫奈良支店 農林水産事業 TEL：0742-32-2270
〒630-8115 奈良市大宮町7-1-33 奈良センタービルディング5階

倉橋溜池土地改良区

土地改良区紹介

- 農業用水の安定的な供給と自然環境を生かした水辺空間を目指して

【地域の概要】

倉橋溜池土地改良区は、橿原市、桜井市、田原本町の2市1町に広がる約804haの水田を受益地とする倉橋溜池と県営・団体営で造成された用水路等を維持管理する土地改良区で、組合員数は約2,250人である。

かつて大和平野の中でも最も干ばつ被害が大きい地域で用水不足の解消が悲願となり、昭和14年に倉橋溜池の築造が県営で開始されたが、太平洋戦争の進行と重なり工事が難航し、ようやく昭和31年になって県営工事が、昭和38年に団体営工事が完成し、用水不足が解消された。しかしながら厳しい社会状況下での施工の影響か、堤体の老朽化の進行が著しく、早期の改修が必要となり、また下流地域では河川の洪水被害軽減が望まれていたため、倉橋溜池に新たに洪水調整容量を加える「県営防災ダム事業」が昭和63年に着手され、平成12年に竣工し、これに併せて溜池周辺の水辺環境も整備された。



【管理施設の概要】

貯水量1,858千 m^3 を有する倉橋溜池を、かんがい時期には職員が毎日巡回し点検を行い、県営事業で造された頭首工1箇所、用水路17 km、団体営事業で造成された水路31 kmについては、定期的に巡回し維持管理を行っている。

幹線水路の老朽化に対応し平成20年度に機能診断、平成23年度より県営基幹水利ストックマネジメント事業を実施し、末端までの用水確保を目指して農地の有効利用及び耕作放棄地の解消を行っている。

また、溜池堤塘の一部区間を利用して、平成25年度土地改良区が事業主体となり太陽光発電システムを設置し、環境にやさしく地球温暖化防止にも役立つ発電を行った。現在、想定していた以上の発電量で推移し、土地改良区の電気代等維持管理費の軽減につながり十分な効果を発揮している。

【これからの土地改良区】

施設管理については、役職員一丸となって、倉橋溜池を中心に用水路等の土地改良施設の適切な維持管理を行い、農業用水の安定的な送水、ダムの洪水調整機能による地域の災害防止、農地の冠水の防止、地域住民の生活と安全を守り、地域社会に貢献すること。また、ため池並びに周辺の魅力ある自然環境を活かした水辺空間を提供して、周辺住民や訪れる人の憩いの場としていきたい。





マスコットキャラ 安萬侶さん

奈良県農村地域づくり協議会 正会員のご紹介

美しい多地区の田園風景を楽しむ会（田原本町）

多地区は、条里制が残る水田を中心とした農業振興地域で、地域のシンボルには、「古事記」を編纂したとされる太安万侶を祀る多神社があります。

主要産業である農業は、稲作と麦作が中心で、兼業農家が多く、高齢化率も進んでいます。農業の担い手として農事組合法人多集落営農組合（以下「営農組合」という。）があり、主食用米、小麦、新規需要米のWCS、飼料用米の栽培が盛んです。農地中間管理機構を活用した営農組合への農地集約化や、農地の1区画規模拡大を進めるために農地の境界や権利を明確化する地籍調査を実施しました。これを基に、畦畔を除去し農地の大区画化を計画することを目標としています。



多神社

平成26年、営農組合が中心となり、地元自治会および近隣の自治会にも働きかけ「美しい多地区の田園風景を楽しむ会」を設立し、現在、営農組合や多自治会の役員や組合員・会員が中心となり各種活動に取り組んでいます。

【 令和5年度のイベント 】

4月28日（金） 地元幼稚園児対象

地元幼稚園児を招き、農村見学、収穫体験、地元産物を使った料理の試食などを行いました。



地元幼稚園 農業体験

7月1日（土） 田植え体験

コロナ禍で3年間中止となっていたイベントの復活。コロナ対策を配慮した田植え体験の他、トラクター、田植機、コンバイン乗車体験。昼食では、『やすまる食堂』で地元のお米と野菜を使った特製カレーやデザートを新鮮野菜料理と一緒に食べて、同時開催の『やすまる市場』でやすまるさん米、やすまろうどん、やすまるせんべいを特別価格で販売しました。

奈良県農村地域づくり協議会 PR活動 実施

『“安萬侶さん米”2023年第8回 田植え体験』において、奈良県農村地域づくり協議会活動組織のPR活動として、案内チラシの配布を行いました。



田植え体験

8月19日（土） 生き物観察

コロナ禍で3年中止となっていたイベントの復活。引き続き「田んぼの学校」として生き物観察や学習を中心に、地元産食品や伝統料理の試食などを行いました。



生き物観察

10月29日（日） 予定 稲刈り体験

昨年、コロナ禍で2年中止となっていたイベントを復活。引き続き今年も稲刈り、地元の農産物の収穫、伝統料理の試食などを実施します。

12月下旬予定 正月の縁起物作り（新規）

農村にある資源（わら、もみ殻等）を活用し、正月伝統的な飾り付け（縁起物）や日用品（わらじ、藁座布団等）を親と子や孫で作成し、楽しめる場を作ります。

この他にも、伝統料理の「半夏生餅」の全戸配布。自治会主催の「夏祭り」、「とんど」等の行事への参加。6次産業への取り組みとして、新品種米粉用米や新品種小麦（強力粉用小麦（はるみずき））を用いた食品の開発に新規で挑戦。また、現状の課題の解消や新たなテーマの検討を進める為、先進地を見学。地場産作物を用いた新たな加工品づくりを始めるための研修・学習に意欲的に取り組んでいます。



稲刈り 昨年の様子

イベントの情報は、[Facebook：美しい多地区の田園風景を楽しむ会]or[奈良県農村地域づくり協議会のホームページ(nouson-nara.jp)]をご覧ください。

令和5年度行事予定

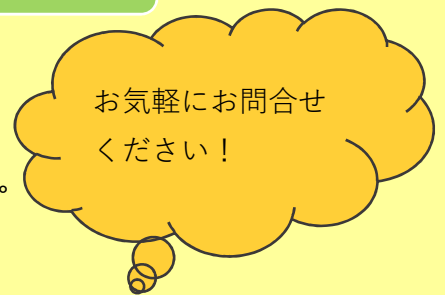
開催月	会議・行事名	開催(予定)場所
11月7日(火)	農業農村整備の集い	東京都
11月13日(月) ~14日(火)	国予算に係る政策提案・要望活動	東京都
11月27日(月)	奈良県土地改良事業団体連合会 理事会	奈良ホテル
11月27日(月)	公益財団法人 農業振興会館 美アップ農村・レディセミナー	奈良ホテル
12月11日(月)	令和5年度複式簿記推進特別研修	大和平野土地改良区
2月	換地計画実務研修会	大和平野土地改良区
2月下旬	奈良県土地改良事業団体連合会 監事会・理事会	大和平野土地改良区
2月下旬	公益財団法人 農業振興会館 理事会・功績者表彰審査会	大和平野土地改良区
2月下旬	公益財団法人 農業振興会館 最先端農業を学ぶセミナー	大和平野土地改良区
3月23日(土)	第64回 奈良県土地改良事業団体連合会 通常総会	大和平野土地改良区
3月23日(土)	公益財団法人 農業振興会館 令和5年度 農業振興功績者表彰式	大和平野土地改良区

※ 今後、変更する場合があります。

土地改良に関する法律相談

本会では、法的な判断が必要とされる土地改良区の案件について、顧問弁護士による法律相談を行っております。

※県に対する許認可(定款変更の手続きなど)等の行政事務は除きます。



実施日： 令和5年11月15日(水)・12月21日(木)
令和6年 1月17日(水)・2月21日(水)・3月13日(水)

時間： 13:30~16:30

場所： 大和平野土地改良区事務所 3階会議室

弁護士： おおみね法律事務所 石黒 良彦 氏

申込み： 奈良県土地改良事業団体連合会 総務企画課 TEL:0744-29-1310

● 編集後記 ●

会員の皆様には、実りの秋を迎えお忙しい時期を過ごされている中、男女共同参画の推進など新しい課題にも取り組まれていることと思います。本会においてもIT推進チームを設けて、組織の変革に取り組み始めました。今後、会員の皆様にも実感していただけるような取り組みとして、実が結びますよう努力してまいります。(編集部)